大御番
松浦出雲守組
別所弥四郎

其方儀兼々不行跡ニ付、上ニ三条通番中尚北ニ而下
公儀ニ茂其身中間躰ニ成　御城之悪口申、侍ニ不似合仕方
不届至極ニ付、終ニ死罪被　仰付ものなり
右於評定所松波備後守、石河土佐守、木下伊賀守、稲垣清右
衛門立合、備後守申渡之

同年七月廿一日

大御番
有馬備後守組
関円記

右円記儀、召仕女ニ手切付手疵為負之段不埒ニ依之改易
被　仰付ものなり
右於同所、大御番松木和泉守組之頭遠山金右衛門、大井新十郎、
能勢甚四郎立合申渡之

申渡之覚

御番
酒井雅楽頭組
湊口伝左衛門

右伝左衛門儀、坂本関円記手負候ニ付、頭并組中并再篤中ニ付又々
見せ申候手疵無之由相違之儀中遣候段、儀不似合事ニ[illegible]